

# ★七たなばたの笹ささかざりをつくろう★

ワークシートをプリントして、色をぬったり、ねがいごとをかいいたり、好きなかざりをつくろう！たてもの園に持ってきてくれたら（期間：2022年（令和4）7月2日～7日）、園内の笹にかざれます！

## ★七たなばたの笹ささかざりってどんなもの？★

七たなばたは奈良時代に宮中で始まった「乞巧きこう奠でん」という行事から広がったもので、旧暦の7月（現在の8月）に行われます。家の前に立てた笹に様々なかざりをつける「笹かざり」は、江戸時代に庶民の間で流行りました。現在の笹かざりには色紙でつくった縁起物や願い事を書いた短冊を吊りますが、昔は梶の葉を用いて葉の表に詩や歌を書いて吊っていました。

### A 梶かじの葉は



梶の葉は表面がザラザラしているため、墨がのって文字が書けるので、短冊として用いられました。

### B ひょうたん



昔から厄除け・縁起物として親しまれている植物です。中が空洞なので水筒やお酒の容器としても用いられました。

### C すいか



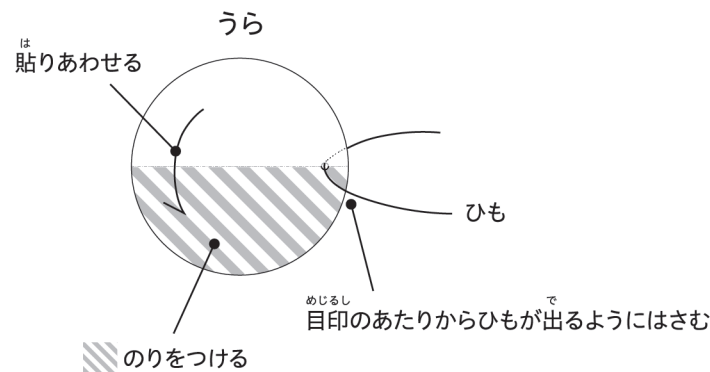
七夕のもとになった乞巧奠では、果物をお供えしていました。江戸時代には夏の食べ物として屋台でも売られるほどにすいかが人気となり、七夕の笹かざりにもデザインされるようになりました。

よういするもの

- A4サイズの紙（白または色紙） ○はさみ ○のり（「すいか」のみ）
- 色えんぴつやマーカーなど、好きな画材 ○ひも（40cmくらいのほそいひも）
- パンチや千枚通しなど（紙にあなをあけるもの）

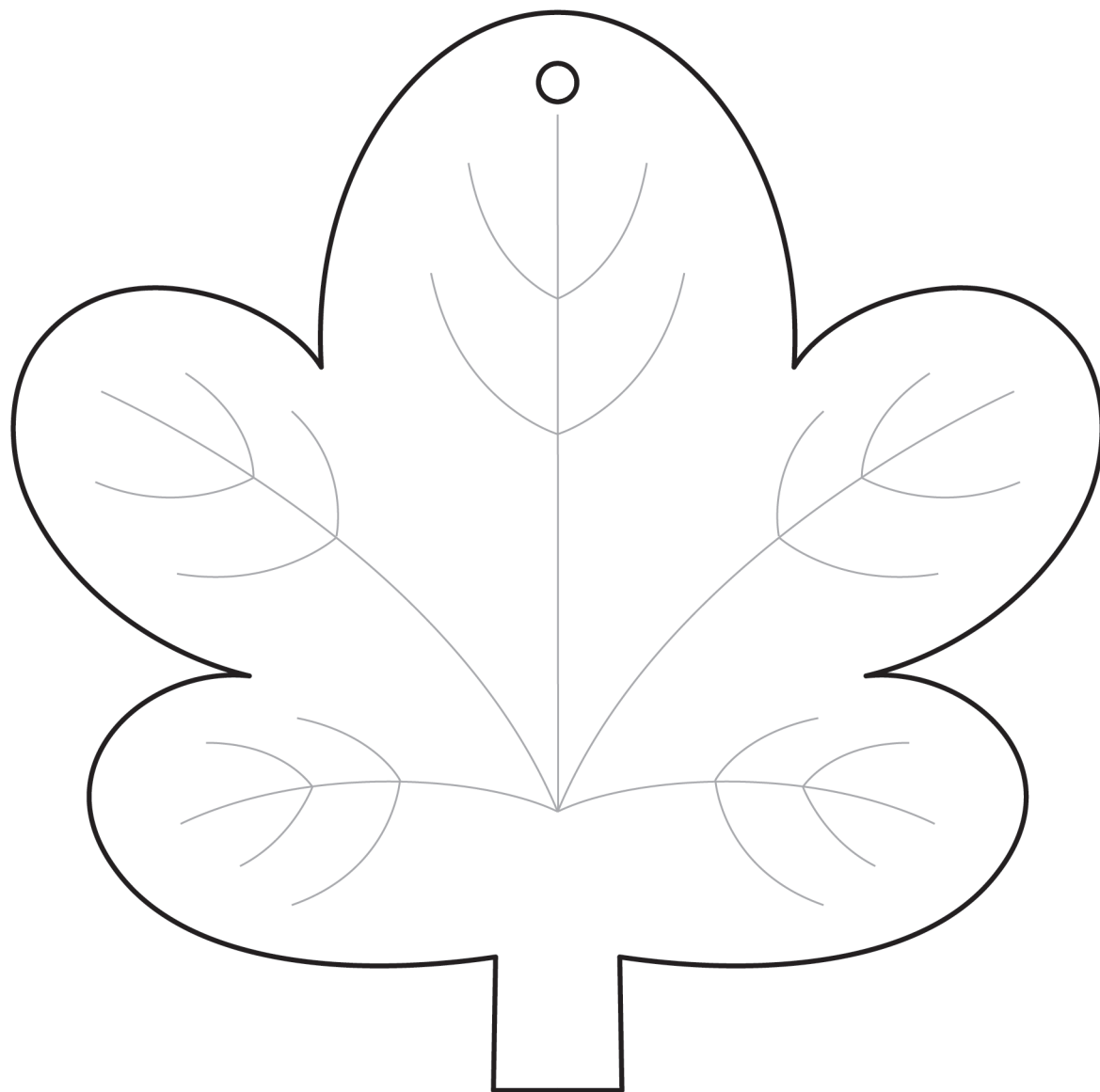
## ☆つくりかた☆

- ①ワークシートをA4サイズの紙にプリントして、色をぬる（または色紙にプリントする）。
- ②そとがわのキリトリ線を切る。
- ③あなをあけて（パンチや千枚通しなど）、あなにひもを通す。
- ④「すいか」は、ヤマオリ線で折り、あなにひもを通し、うらにのりをつけて、ひもをはさんで貼りあわせる。

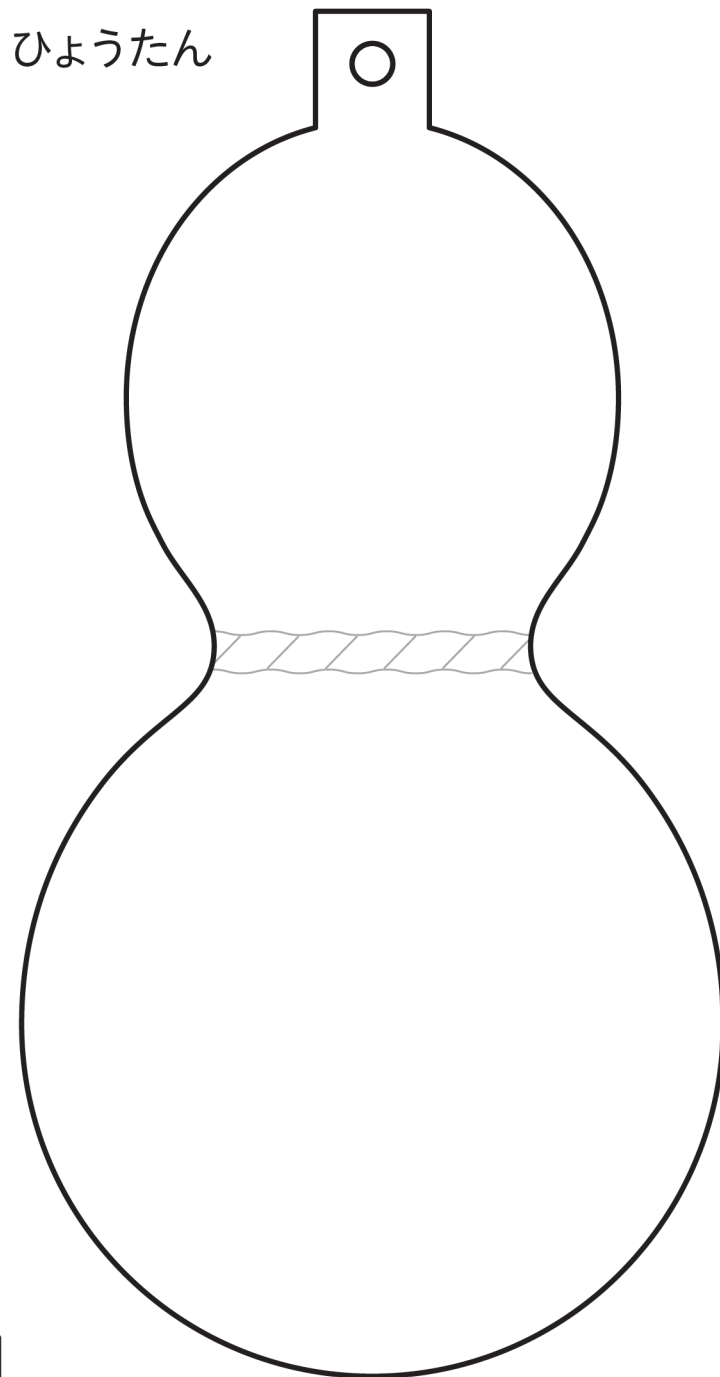


- ⑥ねがいごとを書こう！

A <sup>かじ</sup> <sup>は</sup> 梶の葉

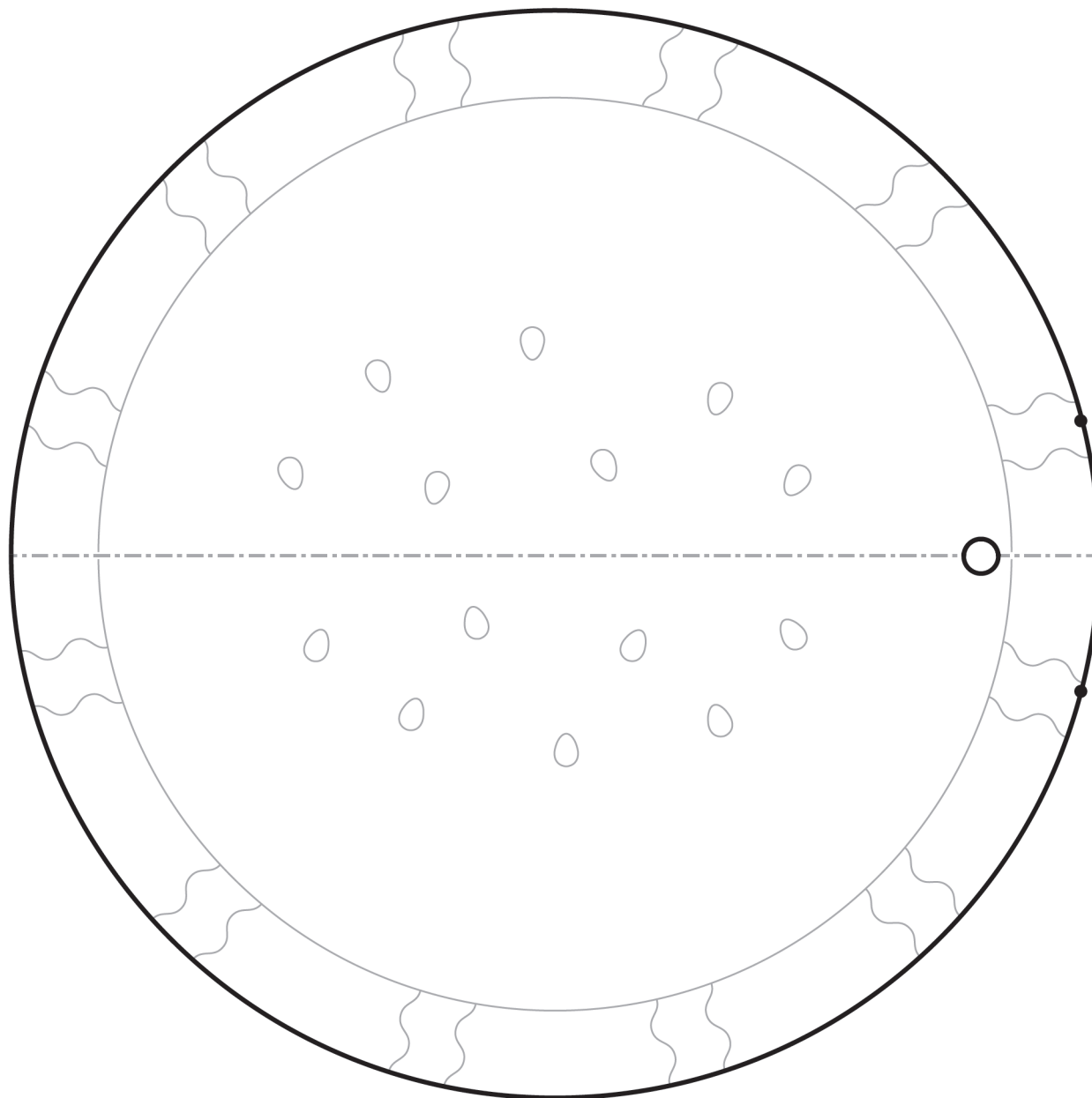


B ひょうたん




キリトリ線 <sup>せん</sup> 

# C すいか



ひもをつける場所の目印 ぼしよ めじるし

キリトリ線 せん   
ヤマオリ線 せん 